

(ロ) 日傭勞務ノ積極的斡旋ノ緊要ナルニ鑑ミ新ニ之ガ協力機構トシテ勞務協會(自稱)ヲ設立シ日傭勞務ノ斡旋組織ヲ整備スルコト

右勞務協會ノ設立ニ伴ヒ大日本勞務報國會ハ之ヲ解散セシムルコト

(ハ) 職業斡旋特ニ職業開拓ノ積極的且迅速圓滑ナル遂行ヲ圖ル爲職業指導所ノ聯絡委員制度ノ充實強化ヲ圖ルト共ニ市町村長、關係官衙、商工經濟會、各種產業團體等ノ關係者ヲ以テ組織スル綜合復員協議會ヲ職業指導所ニ設置シ併セテ之ガ下部機構ヲ主要市町村ニ設置スルコト

二、勤勞署設置關係

一 昭和二十年十月六日勸令第五百六十號(普通職官制改正等ノ件)

一 昭和二十年十月九日厚生省令第三十九號(職業紹介法施行規則中改正等ノ件)

一 勤勞署ニ關スル件(昭二〇・一〇 六、發勸第二一三號厚生次官
内務次官)

勅令第五百六十號

昭和二十年十月六日

第一條 警視廳官制中左ノ通改正ス

第三條第一項中「其ノ他國民勤勞動員」ヲ其ノ他勤勞ノ需給ニ改ム

第十二條勤勞部ノ部第十八號ヲ左ノ如ク改ム

十八 前四號ニ掲グルモノノ外勤勞ノ需給ニ關スル事項

第三十五條中「國民勤勞動員署」ヲ「勤勞署」ニ、「國民勤勞動員署長」ヲ「勤勞署長」ニ、同

條第二項中「及國民勤勞動員」ヲ「復員ニ伴フ職業ノ轉換等ノ職業對策ニ關スル事務其ノ他勤勞ノ需給」ニ改ム

第二條 北海道廳官制中左ノ通改正ス

第十二條第六項第二十四號ヲ左ノ如ク改ム

二十四 前四號ニ掲グルモノノ外勤勞ノ需給ニ關スル事項

第三十八條中「國民勤勞動員署」ヲ「勤勞署」ニ、「國民勤勞動員署長」ヲ「勤勞署長」ニ、「及國民勤勞動員」ヲ「復員ニ伴フ職業ノ轉換等ノ職業對策ニ關スル事務其ノ他勤勞ノ需給」ニ改ム

第二條 樺太廳官制中左ノ通改正ス

第十三條第十號ヲ左ノ如ク改ム

十 前四號ニ掲グルモノノ外勤勞ノ需給ニ關スル事項

第四十一條中「國民勤勞動員署」ヲ「勤勞署」ニ「國民勤勞動員署長」ヲ「勤勞署長」ニ、同條第二項中「及國民勤勞動員」ヲ「復員ニ伴フ職業ノ轉換等ノ職業對策ニ關スル事務其ノ他勤勞ノ需給」ニ改ム

第四條 地方官官制中左ノ通改正ス

第十五條第二十四號ヲ左ノ如ク改ム

二十四 其ノ他勤勞ノ需給ニ關スル事項

第四十八條ノ三中「國民勤勞動員署」ヲ「勤勞署」ニ「國民勤勞動員署長」ヲ「勤勞署長」ニ、「及國民勤勞動員」ヲ「復員ニ伴フ職業ノ轉換等ノ職業對策ニ關スル事務其ノ他勤勞ノ需給」ニ改ム

第五條 昭和二十年勅令第四百五十二號ハ之ヲ廢止ス

附則

三四

本令ハ昭和二十年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

他ノ勅令中職業紹介所官制ニ依ル職業紹介所又ハ従前ノ規定ニ依ル國民職業指導所若ハ國民勤勞動員署又ハ其ノ職員ニ關スル規定ハ勤勞署又ハ其ノ職員ニ關スル規定トス

厚生省令第三十九號

左ニ掲グル省令中「國民勤勞動員署」ヲ「勤勞署」ニ、「國民勤勞動員署長」ヲ「勤勞署長」ニ改ム

昭和二十年十月九日

厚生大臣 松村 謙 三

職業紹介法施行規則

無料職業紹介事業規則

營利職業紹介事業規則

勞務供給事業規則

勞務者募集規則

國民職業能力申告令施行規則

勞務動態調査規則

三五

昭和十五年十月厚生省令第四十三號（國民職業能力申告令第二條第六號ノ要申告者ニ關スル申告ノ特令ニ關スル件）

國民勞務手帳法施行規則

○昭和十九年三月、閣令、大藏省令、文部省令、厚生省令、農商省令、軍需省令、運輸通信省令第一號（官廳被用者タル科學技術者ノ國民職業能力申告令ニ依ル申告ノ特例ニ關スル件）

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和二十年十月六日

發勤第二二三號

厚生次官
內務次官

警視總監
北海道廳長
樺太廳長
府縣知事
官殿

勤勞署ニ關スル件

戰爭終結ニ伴ヒ戰時狀態ヨリ平和建設ヘノ急速ナル轉換ニ即應スル爲今回警視廳官制、北海道廳官制、樺太廳官制及地方官制中一部改正ノ件本日公布セラレ國民勤勞動員署ハ勤勞署ト改メラレ候處右ハ戰時中國民勤勞動員實施ノ第一線官廳タリシ國民勤勞動員署ヲシテ勤勞署トシテ戰後ニ於ケル國民ノ完全就職ヲ目途トシ職業斡旋ノ強化、職業指導ノ徹底ヲ圖リ特ニ軍人軍屬、軍需產業従業者等ノ復員又ハ在外地引揚邦人等ノ職業斡旋並ニ戰後ニ於ケル復舊對策ヲ中心トスル勞務ノ需給調整ヲ圖ラシメントスルノ趣旨ニ出デタルモノニ有之候條左記御留意ノ上關係職員ノ人事ニ意ヲ用ヒラルト共ニ之ガ指導監督ニ特段ノ配意ヲ致サレ今後豫想セラルベキ勤勞問題解決ニ遺憾ナキヲ期セラレ度此段依命及通牒候

記

一、機構ニ關スル事項

勤勞署所管事項ハ差當リ從來ノ國民勤勞動員署ノ所管事項トシ必要ナル事項ニ付テハ今後逐次指示通牒セラレベキコト

國民勤勞動員署出張所又ハ分所ハ之ヲ勤勞署出張所又ハ分所トシ其ノ取扱ニ付従前ノ例ニ依ルコト

二、職員ニ關スル事項

勤勞署ノ事績ノ成否ハ其ノ人的構成ノ如何ニ依ルト共ニ之等職員ノ十全ナル活動ニ俟ツ所至大ナルヲ以テ共ノ職員ニシテ社會情勢ヲ認識セズ徒ラニ權力的戰時統制ノ觀念ニ墮シ民衆ニ接スルニ懇切公正ヲ缺クガ如キ今後ノ業務執行ニ不適當ト認メラルモノアル場合ハ適宜人事ノ刷新ヲ圖リ眞ニ適格ナル人材ヲ廣ク任用スル如ク配慮スルコト

尙職員ノ信實必罰ニ關シテハ之ヲ嚴ニシ特ニ署長ヲシテ率先垂範ノ實ヲ舉ゲシムルト共ニ指導教養ニ特段ノ配意セラレタキコト

三、業務運営ニ關スル事項

勤勞署ハ管内産業、經濟勤勞事情ヲ的確ニ把握シ新事態ニ對應スベキ業務ノ運営ノ基礎資料タラシムルト共ニ國民ノ完全就職ヲ目途トシ國民生活ノ安定、戰後復舊及民需産業方面ノ復興ニ重點ヲ指向スル如ク積極的ニ職業ノ開拓、斡旋並ニ職業指導輔導ニ其ノ主力ヲ傾注シ進ンデ離職、失業ノ防止救済ニ努ムルコト

尙地方事務所其ノ他ノ官公署トノ聯絡提携ハ勿論關係産業諸團體其ノ他有識者等廣ク民間人ノ活用ヲ圖ルト共ニ協力ヲ求ムル等業務ノ圓滑ナル運営ヲ圖ル様指導スルコト